

館林市総合計画審議会 第1回子育てと学びの部会 議事録【概要】

日時

令和元年11月28日（木）午後3時45分から午後4時20分まで

場所

館林市役所5階503会議室

出席者

【審議会委員】8名

石川京子委員 関口百合子委員 曾原幸子委員 野村和利委員、平林恵美委員、森静子委員、渋谷理津子委員、柴田信委員

【策定事務局参事】2名

生涯学習課長 こども福祉課長

【事務局】1名

企画課政策推進係職員

会議内容

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 役員決め

部会長に森静子委員、副部会長に平林恵美委員が選任されました。

(4) 議事

ア 部会の進め方

今後の審議スケジュールを確認しました。

(委員からの意見・質問)

・まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果の資料のうち、子育てと学びに関する結果も次回の審議会で示されるのでしょうか。

⇒次回の審議会で配付する予定です。

イ 10年後に目指す館林の姿とそのために必要なこと

(委員からの意見)

- ・将来目指す館林の姿のキーワード「グローバルな共生社会」。外国からも選ばれるまち。
- ・心身に障がいを持つ人たちに配慮した、誰もが生きやすい館林。
- ・高齢者や障がい者、発達障がい者の個性が認められ、それらの個性が認められることがスタンダード化し、障がい者とそうではない方々が区別されない社会。

- ・女性が活躍できる社会。働かざるを得ない方、働きたい方、フルタイムで働かないまでも社会との接点を持ちたい方、様々な希望を実現できるような社会。人と人をつなぐ、社会との結びつきを強くしていく仕組みが整ったまち。
- ・男性、女性を区分せず、家庭や子育てに関わっていく環境が整ったまち。
- ・市内商店が増え、人との関わりがあるまち。
- ・子どもの遊び場が充実したまち。
- ・高齢者の居場所が充実し、元気で外に出てくる高齢者も、外に出たがらない高齢者も様々な活動に参加できるまち。
- ・住民がいつでもどこでも安心して暮らせる館林。
- ・子どもが心身ともに健やかに育ち、みんな仲良くしていく、自分の子どもが館林に住みたくなるようなまち。
- ・水と緑のまちという視点のほかに、水害としての「水」に対する安全・安心という視点が必要。
- ・外国人の増加に伴う外国人との共生という「グローバル」と地域との繋がりを持った「ローカル」のバランスが整ったまち。
- ・外国人との共生を視野に、隣人として仲良くしていく取組が必要。

(5) その他

議事録については部会長、副部会長確認の上、ホームページに掲載することをお知らせしました。

次回の審議会開催日程についてお知らせしました。